

学校教育目標

市民協働による人づくり

未来創造への人づくり

夢と希望と勇気をもって生きる生徒の育成

知育

自ら学ぶ生徒

課題を持って学ぶ
仲間と磨き高め合う

- 課題対応能力
- 人間関係形成・社会形成能力

徳育

正しく判断し、行動する生徒

明るくさわやかな
挨拶ができる
仲間を大切にする

- 自己理解・自己管理能力
- 人間関係形成・社会形成能力

体育

心身を鍛える生徒

規則正しい生活ができる
仲間と運動で体を鍛える

- 自己理解・自己管理能力
- 人間関係形成・社会形成能力

基礎的・汎用的能力

基本方針

(平成 27～31 年度中長期ビジョン：本年度部分改訂)

- 1 学校で最も大切なものは「子供の命」である。よって、「自他の命を大切にする人づくり」を推進する。
- 2 発達支援教育の理念を根幹に据えた教育活動を展開する。
- 3 すべての教育活動をとおして、社会人として求められる資質・能力を育成する。
- 4 学校で学ぶことの意義を理解させ、学習の基礎・基本の定着と深化・充実を図る。
- 5 道德の時間を中心として、正しい判断力と勇気ある行動力の育成を図る。
- 6 好ましい生活習慣を身につけさせるとともに、気力・体力・忍耐力等をはぐくむことを目的とする「健康教育」を推進する。
- 7 生徒の主体性や社会性をはぐくむため、「特別活動」や「部活動」の充実を図る。
- 8 曳馬小・上島小との連携を深め、9 年間の学びと育ちをつなぐ小中一貫教育を推進する。
- 9 教育課程を外部に開き、家庭や地域社会と共にある学校づくりを推進する。

めざす教師

- ・生徒理解に努め、誠意を持って明るく接する教師
- ・労を厭わず本気になって実践し、皆と助け合う教師
- ・研究と修養に努め、人間性と専門性を高める教師

小中一貫

上島小 曳馬小
との
情報交換会の充実
交流活動・事業の促進

30 年度 学校経営目標

～自身と、自身が所属する集団に誇りを持ち、「チーム曳馬」の一員として自身の向上と、より良い集団づくりに取り組む生徒の育成～

- ① 安心して学び合える学校づくりのため、いじめ・不登校・問題行動の早期発見と、「チーム曳馬」による早期解決に努める。
- ② 「正しく判断し、行動する生徒」の育成を目指し、道德の授業や帰りの会での語りかけを中心に、全教育活動をとおして、道德的心情・判断力・実践意欲と態度の育成を図る。
- ③ 「分かる授業・楽しい授業・磨き合う授業」を積み重ね、確かな学力を身に付けさせる。
- ④ すべての学校教育活動をとおして、自己理解・自己管理能力、人間関係形成能力、課題対応能力をはぐくむ。
- ⑤ 「曳中魂」を諸行事・活動、部活動等で発揮させつつ、規律ある集団とする。

行事参加

支援活動

早寝早起き・あいさつ・朝ごはん運動

学校評議員・PTA・部活動育成会・同窓会・おやじの会

地域（自治会・校区青少年健全育成会）